

## 目次

1. 巻頭言		
水素エネルギーシステムの進展に必要なこと		225
水素エネルギー協会会長 日本大学 理工学部 教授 西宮伸幸		
2. 特集 「高密度状態にある水素の物性とその計測技術」		
(1) 総論：液化水素利用の現状と将来	岩谷産業（株） 繁森敦	227
(2) 信憑性の高い水素熱物性データの紹介	山根水素エネルギー研究所 山根公高	230
(3) 高圧水素ガスの流量計測技術	(国研) 産業技術総合研究所 森岡敏博、(株) タツノ 大滝勉、 岩谷産業（株） 伊藤優	241
(4) 高圧水素熱物性の精密測定と水素物性データベースの応用	九州大学 迫田直也	246
(5) 水素液化磁気冷凍システムの開発	金沢大学 松本宏一、(国研) 物質・材料研究機構 沼澤健則	251
(6) 金属材料の水素脆化	元特定国立研究開発法人産業技術総合研究所 横川清志	259
3. 解説		
水素ガス流出拡散に関する最近の研究		269
元独立行政法人産業技術総合研究所 堀口貞茲		
4. 資料 「第152回定例研究会」予稿		
(1) 「液体水素関連技術の開発」	岩谷産業（株） 繁森敦	278
(2) 「低温域における温度標準と温度計校正技術」	(国研) 産業技術総合研究所 島崎毅	280
(3) 「磁気冷凍による水素液化への技術展望」	(国研) 物質・材料研究機構 沼澤健則	282
(4) 「液体水素冷熱利用エネルギーシステムの検討」	筑波大学 中山知紀	284

5. 見聞録		
	MH2016 (15th international Symposium on Metal-Hydrogen Systems)の参加報告 筑波大学 花田信子	286
6. 研究室紹介		
	東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻 Oyama・菊地研究室 研究 室紹介 菊地隆司	288
7. トピックス		
	アンモニアを原料とした燃料電池自動車用水素燃料製造 広島大学 小島由継	290
8. 市民の立場からの寄稿		
	パブリック・リレーションズを活用した「水素エネルギー社会の実現」の試み その2 (株)井之上パブリックリレーションズ 井之上喬	292
9. 会告		
	◆事務局からのお知らせ	295
	◆2016 特別講演会	297
	◆本会の概要、会則	298
	◆組 織	306
	◆団体会員 (連絡先)	307